

令和7年度第3回宗像市産業振興推進審議会会議録(発言者要点筆記)

日時	令和8年3月18日(水)16:00~17:00
場所	宗像市役所 103 会議室
出席者	中野委員、矢原委員 小島委員、中林委員、嶺委員、八尋委員
事務局	【産業振興部】市場(部長)、寺尾(農林水産担当部長) 【ふるさと寄付推進課】山本(課長) 【農林水産課】田村(農林担当課長)、青木(水産担当課長) 【元気な島づくり課】中野(島づくり担当課長)、橋本(航路担当課長) 【産業政策課】藤原(課長)、花田経久(産業政策係長)、緒方

1. 開会

事務局より配布資料の確認  
併せて事務局より会議の成立報告

2. 会長あいさつ

中野会長よりあいさつ

3. 前回議事録の確認

一同承認

4. 審議

(1) 宗像市産業振興計画(案)について

事務局 (資料2~4に基づいて説明)

中野会長 事務局の説明の内容についてご意見、質疑等はないか。

中林委員 計画案22ページの取り組むべき課題では人材不足と記載があるが、概要版では人材確保と記載されている。

事務局 概要版を、計画案の表現に合わせて『人材不足』に修正させていただく。

中林委員 計画案28ページの市内産地直売所利用頻度の評価指数について、前回は基準値が定まっておらず、目標値は基準値の10%増の予定だったと思うが、これを見ると単純に10ポイント増という認識でよいか。

事務局 その認識で問題ない。

中野会長 他にご意見もないようなので、計画案についてご承認いただいたということでよろしいか。

一同承認

## 5. 宗像市産業振興計画の答申について

中野会長から市場部長に答申

市場部長 本日は第3回審議会にご出席いただき、ありがとうございます。答申をいただき、今後計画を確定していくことになるが、計画を作ることが目的ではなく、これを手段にしていかなければならない。前回の議論でもあったとおり、進捗の管理や実務レベルでの意見交換という宿題も頂いている。これについては、産業政策課で責任を持って検討を重ねていく。また、経済環境というのは、少しのことで激変していくため、柔軟に対応していきたい。今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 6. その他

事務局 その他に何かあればご発言を。

矢原委員 今日の内容とは関係ないが、玄海地区で外国人による解体業やリサイクル業のようなものが増えているような気がする。景観条例には違反しないかもしれないが、見た目が良くないと思う。地元の人からも困っているという状況を聞いたこともあるため、条例や規制等で何らかの対応ができないかと個人的には思う。

事務局 規制や法律等については、我々ができることとできないことがあるとは思いますが、主体となる環境課にも状況を確認し何らかの対処をしていかなければならないと思う。景観で規制できるかはわからないが、用途としておかしいのではないかと感じる部分もあるため、指導しなければならない部分に関しては、関係各所をつないで指導してもらいたい。我々行政が想定していないところで発生する問題もあるため、地域の皆さんに不安を感じさせないようにしていきたい。

小島委員 バリケードがあると何をしているかわからないという不安感がある。聞いた話だが、そういったところに不法就労者を含む住所不定の人たちが住んでいることもあるようだ。

事務局 文化の違いを理由に排斥してしまうのは良くないが、相互に理解できるような形にしていかなければならない。

嶺委員 オイル等を垂れ流して土壌汚染になる可能性もある。

小島委員 農地だったら規制があると思うが、それ以外はどうなるのか。

事務局 山林については、森林法があり、森林法の第10条の8に水源の確保や災害の防止といったキーワードがあるが、1haを超えなければ許可の対象とならず、届出で済んでしまう。

事務局 規制しすぎると本当に真面目に業をやろうとしている人たちがやりにくくなっ

てしまう部分もあるため、バランスが必要だと感じる。産業振興の分野だけではなく、都市計画課や環境課とも連携し対応していきたい。

事務局 事務局から2点連絡させていただく。

今回の第3回審議会の議事録の取り扱いについては、これまでと同様に後日メールにて委員の皆様にご確認いただきたい。修正意見等があった場合は、事務局で反映し、メールにて共有させていただく。修正意見が出そろった時点で確定とし、そのまま承認いただいたものという形でのよろしいか。

一同承認

事務局 もう1点は、今後の計画の取り扱いについて。本日の答申を踏まえて、本市において確定した上で公表する流れとなる。庁議にかけて、4月上旬には市議会への説明を行う予定。その後、市のホームページ等で公表しながら関係者の皆様にも周知していく流れとなるので、ご承知おきいただきたい。

## 7. 閉会

各委員より一言

中林委員 前回も参加させてもらったが、主だった課題は前回と大きく変わっていない。後継者不足や人材確保はより深刻になっているという印象を持った。審議会の中でもあったように、後継者不足によって道の駅の出品数が減ってしまうといったことにもつながると消費者や市民にとっては非常にマイナスになる。難しい問題ではあると思うが、実施計画の中で具体化していただきたい。

小島委員 人づくりというのは永遠のテーマになると思うが、戦争が起こったり異常気象になったりという社会情勢の中で、それに応じた計画が大事。計画の中でもあったように、計画づくりが目的ではなく、実践し、進捗管理していくことをお願いしたい。

矢原委員 観光協会がDMOに移行していく中で、観光協会だけでは、宗像の観光の活性化や観光客を誘客することは厳しい。やはり行政の力を借りながら一緒になって動いていかなければならない。発展のためには、協力していただきたいと思っているため、お願い申し上げる。

嶺委員 事業承継や後継者問題については引き続き行政と様々な形で意見交換が必要である。やはり、中小企業や小規模事業者がある程度利益を出し、それが地域に還元されていかなければ、住みたいまちにはならないと考えているため、行政とも協力し合って明るいまちづくりに努めていきたいと思っている。

八尋委員 漁協も様々な課題があるが、課題が少しでも減るようにしたい。一つ解決したかと思えば、別の問題が出てくる。後継者の問題で言えば、今年は 22 名ほどが退会されるが、新しく入るのは 10 名ほど。やはりそのあたりは行政の力を借りて課題を少なくしていきたい。

中野会長 委員の皆様、産業振興部の皆様、大変お疲れ様でした。進行上、いろいろと拙いところもあったかと思うが、ご容赦いただければと思う。この産業振興計画が市内事業者の方々の売上げ向上や所得向上につながって、宗像というまちが元気になればと思う。道の駅むなかたとしても様々な取組を通して、事業者や出品者の方々の売上げ向上、所得向上を通して、宗像市の産業振興、あるいは地域経済の活性化に貢献できればと思う。要約すると、計画を作って終わりではない、事業者だけではなく行政の力も必要、中小企業の方々の意見を聞く場を設けてほしい、ということがあがった。事務局としても今後、取組を推進するための実務レベルの会議体の構築を課題として受け止めているものと認識している。あとは、このプランを動かしていくことが必要。今後とも産業振興のために、よろしくお願い申し上げます。

事務局 それではこれを持ちまして、第 3 回宗像市産業振興推進審議会を閉会いたします。ありがとうございました。